生け花

年の瀬も押し迫る年末、利用者様が正月花の生け込みを行いました。季節感あふれる作品が出来上がり、お正月の間あるふぁ国立の玄関を彩りました。

男性の利用者様も多くご参加され、生け花を身近に楽しんでおられました。どれも素敵な作品ばかりで、利用者様の個々の豊な感性が表現されていました。

ご覧になったご家族様・ご来設の方が一同に『ステキだね！』と、作品に魅入っていました。

事故防止委員会

あるふぁ国立では、委員会活動の１つとして事故防止委員会を設置しております。施設内での安全管理の役割を担っています。

利用者様の行動・生活環境に危険な箇所はないか？どの様な危険が潜んでいるのか？を未然に検討し対処しています。利用者様に、安全で安心した生活を送っていただくための活動です。万一ですがほんの些細な事でも何かあった際には、発生の原因を追究、防止策や対処内容について検討を行い、二度と同様の事が起きないよう対策を構築しています。

お餅つき

１２月、あるふぁ国立では来年の福と健康を願い餅つきを行いました。

『せ～の！』と合図と共に職員が餅つきを披露すると、『よいしょ！』という掛け声と拍手、歓声があがっていました。餅つきが佳境に入ると、利用者様にも杵を握ってもらい、餅つきを楽しんでいただきました。職員にとっても楽しい時間を過ごせたのではないでしょうか？

来年も良い年になるよう祈って、みんなで味わいました。みんなでついたお餅は、格別でしたね！

春分の日

春分の日、３月２０日頃は昼と夜の長さが同じになります。その前後３日ずつの７日間を「彼岸」として、先祖の御霊（みたま）をおまつりする日であり、祝日の趣旨によれば「自然をたたえ、生物をいつくしむ」とされています。

お彼岸になると春には「ぼたもち」秋には「おはぎ」を供えますが、これは呼び名が違うだけで同じモノです。春は牡丹、秋は萩と、季節の花に例えて呼びわけているのです。

「暑さ寒さも彼岸まで」昔の人々は、体調を崩しやすい、季節の変わりめに体力をつけるためにおはぎを食べたそうです。あんこやきなこは体にもよく、栄養価の高い食べ物だからです。

♪編集後記♪

春の訪れを感じられるようになった今日この頃。今年の冬は例年になく寒かったので、春の暖かさを心待ちにしていました。心地よい春の風と共に、新たな気持ちで物事に取り組んでいきます！

居宅介護支援・訪問介護　あるふぁ宮町
◎訪問介護事業　営業日：月～土曜日（日・祝日休業）
◎居宅介護支援事業　営業日：月～金（土・日・祝日休業）
◎住　所　東京都府中市府中町2-7-3
フラワーハイホーム401号室

医療法人社団 三水会　介護老人保健施設　あるふぁ国立
◎サービス内容　入所・ショートステイ
通所・訪問リハビリテーション
◎住　所　東京都国立市谷保1006-1
◎お問い合わせ先　TEL　042-577-8121　FAX　042-577-8130